

阿蘇火山 最近の噴火活動

阿蘇火山中岳の第一火口は、1989年後半に活発な噴火活動を始め、現在に至っている。この過程で、様々な噴火様式が観察されつつあるが、1月号のグラビア第1ページ

に続いて、今月号でもその一部を紹介する。

本文 池辺伸一郎・渡辺一徳両氏の報告参照。

(編集委員会)



1. 1989年11月26日の噴火。午前9時10分阿蘇山上広場より撮影。写真提供：熊本市 麻生なおみ さん



2. 1982年、第一火口の湯だまり。写真提供：阿蘇火山博物館



3. 1989年5月30日の火口底の状況。上昇してきたマグマの熱で湯だまりは完全に干上がり、赤熱現象が見られる。
阿蘇火山博物館 池辺伸一郎氏撮影



4. 891火孔から吹き上がる噴煙。1989年7月19日午前5時頃、池辺伸一郎氏撮影



5. (上)891火孔の火炎現象。8月23日夜間、池辺伸一郎氏撮影



6. (右)10月9日、891火孔とその隣に新たに開口した892火孔とからスコリアの噴出を開始。写真提供：京都大学阿蘇火山研究所 田中良和氏



7.
1989年10月20日から21
日にかけて大量の火山
灰を噴出。古坊中より
21日に熊本大学 渡辺
一徳氏撮影



8. (上)11月2日噴出のスコリア。
写真提供：渡辺一徳氏

9. (左)10月9日に開口した892火孔からのストロンボリ
式噴火。スコリアの噴出は火口底から150mの高さに達
した。弾道の屈曲は赤熱した軽いスコリアが回転や衝
突をしたため。10日夜8時撮影。写真提供：熊本日日
新聞社